【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和5年10月23日(2023.10.23)

【国際公開番号】WO2021/078691
【公表番号】特表2022-553698(P2022-553698A)
【公表日】令和4年12月26日(2022.12.26)
【年通号数】公開公報(特許)2022-238
【出願番号】特願2022-523518(P2022-523518)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｂ 15/16(2020.01)
Ａ２４Ｂ 15/30(2006.01)
Ａ２４Ｄ 1/20(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/20(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｂ 15/16
Ａ２４Ｂ 15/30
Ａ２４Ｄ 1/20
Ａ２４Ｆ 40/20

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月13日(2023.10.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアロゾル発生基体を含むエアロゾル発生物品であって、前記エアロゾル発生基体が、ショウガ粒子、エアロゾル形成体、および結合剤を含む、均質化したショウガ材料を含み、前記エアロゾル発生基体が、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも１０マイクログラムの［６］－ジンゲロールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも９０マイクログラムの［１０］－ジンゲロールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも７０マイクログラムの［１０］－ショウガオールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも３０マイクログラムの［８］－ショウガオールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも８０マイクログラムの［６］－ショウガオールと、を含む、エアロゾル発生物品。
【請求項２】
前記基体１グラム当たりの前記［６］－ショウガオールの量が、前記基体１グラム当たりの前記［１０］－ジンゲロールの量の少なくとも５倍である、請求項１に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項３】
前記エアロゾル発生基体が、乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり１ミリグラム～２０ミリグラムのニコチンをさらに含む、請求項１または２に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項４】
前記均質化したショウガ材料が、乾燥重量基準で、５重量％～３０重量％のエアロゾル形成体と、１重量％～１０重量％の結合剤と、を含む、請求項１～３のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項５】
前記結合剤が、グアーガムを含む、請求項１～４のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項６】
前記均質化したショウガ材料が、乾燥重量基準で、少なくとも２．５重量％のショウガ粒子を含む、請求項１～５のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項７】
前記均質化したショウガ材料が、たばこ粒子をさらに含み、前記ショウガ粒子と前記たばこ粒子の重量比が、前記ショウガ粒子と前記たばこ粒子の重量比が、１：４以下である、請求項１～６のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項８】
前記エアロゾル発生基体中の前記均質化したショウガ材料が、キャストリーフの形態である、請求項１～７のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項９】
前記エアロゾル発生基体中の前記均質化したショウガ材料が、ショウガ紙の形態である、請求項１～７のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１０】
試験方法Ａによる前記エアロゾル発生基体の加熱に伴い、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも１５マイクログラムの［６］－ジンゲロールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも１．５マイクログラムの［１０］－ジンゲロールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも３０マイクログラムの［１０］－ショウガオールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも１５マイクログラムの［８］－ショウガオールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも３０マイクログラムの［６］－ショウガオールと、を含み、
前記基体１グラム当たりの前記［１０］－ショウガオールの量が、前記基体１グラム当たりの前記［１０］－ジンゲロールの量の少なくとも１０倍である、前記エアロゾルが発生される、請求項１～９のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１１】
前記基体１グラム当たりの前記［１０］－ショウガオールの量が、前記基体１グラム当たりの前記［１０］－ジンゲロールの量の少なくとも２０倍である、請求項１０に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１２】
試験方法Ａによる前記エアロゾル発生基体の加熱に伴い、前記エアロゾル発生基体から発生される前記エアロゾルが、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．３マイクログラムの量の［６］－ジンゲロールと、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．０３マイクログラムの量の［１０］－ジンゲロールと、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．７マイクログラムの量の［１０］－ショウガオールと、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．３マイクログラムの量の［８］－ショウガオールと、

エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．６マイクログラムの量の［６］－ショウガオールと、を含み、
エアロゾルの吸煙が、喫煙機によって発生されるときに、５５ミリリットルの体積を有し、吸煙当たりの前記［１０］－ショウガオールの量が、吸煙当たりの前記［１０］－ジンゲロールの量の少なくとも１０倍である、請求項１～１１のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１３】
ショウガ粒子、エアロゾル形成体、および結合剤を含む、均質化したショウガ材料を含む、エアロゾル発生基体であって、前記エアロゾル発生基体が、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも１０マイクログラムの［６］－ジンゲロールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも９０マイクログラムの［１０］－ジンゲロールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも７０マイクログラムの［１０］－ショウガオールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも３０マイクログラムの［８］－ショウガオールと、
乾燥重量基準で、前記基体１グラム当たり少なくとも８０マイクログラムの［６］－ショウガオールと、を含む、エアロゾル発生基体。
【請求項１４】
エアロゾル発生システムであって、
発熱体を含むエアロゾル発生装置と、
請求項１～１２のいずれかに記載のエアロゾル発生物品と、を含む、エアロゾル発生システム。
【請求項１５】
請求項１３に記載のエアロゾル発生基体の加熱に伴い生成されるエアロゾルであって、前記エアロゾルが、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．３マイクログラムの量の［６］－ジンゲロールと、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．０３マイクログラムの量の［１０］－ジンゲロールと、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．７マイクログラムの量の［１０］－ショウガオールと、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．３マイクログラムの量の［８］－ショウガオールと、
エアロゾルの吸煙当たり少なくとも０．６マイクログラムの量の［６］－ショウガオールと、を含み、
エアロゾルの吸煙が、喫煙機によって発生されるときに、５５ミリリットルの体積を有し、吸煙当たりの前記［１０］－ショウガオールの量が、吸煙当たりの前記［１０］－ジンゲロールの量の少なくとも１０倍である、エアロゾル。
【請求項１６】
請求項１３に記載のエアロゾル発生基体を作製する方法であって、
ショウガ粒子、水、エアロゾル形成体、外来性結合剤、および随意にたばこ粒子を含む、スラリーを形成する工程と、
前記スラリーをシートまたはストランドの形態でキャスティングまたは押出成形する工程と、
前記シートまたはストランドを摂氏８０度～摂氏１６０度で乾燥させる工程と、を含む、方法。